
Reporter 3.2ソフトウェア

ユーザーガイド

本書はSCIEX機器をご購入され、実際に使用されるお客様にむけてのものです。本書の著作権は保護されています。本書および本書の一部分を複製することは、SCIEXが書面で合意した場合を除いて固く禁止されています。

本機器は研究専用です。診断手段としての使用は想定されていません。実験室用診断への使用を推奨します。保証は後述の通りです。

IVD

すべての国で販売されているわけではありません。このような使用はいかなる場合も、これらの製造業者による製品をSCIEXの供給機器として扱う場合に限り、その権利やライセンスの使用、またはその他の業者にこれらの製造業者名および製品名の商標利用を許可するものではありません。

SCIEXの保証は販売またはライセンス供与の時点で提供される明示的保証に限定されており、またSCIEXの唯一かつ独占的な表明、保証および義務とされています。SCIEXは、制定法若しくは別の形の法律、または取引の過程または商慣習から生じるかどうかに関わらず、特定の目的のための市場性または適合性の保証を含むがこれらに限定されず明示的・黙示的を問わず、いかなる種類の他の保証も行わない。そのすべては明示的に放棄されている。またAB Sciexは購買者による使用、またはそれから生じる逆境が原因の間接的または必然的な損害を含め、一切の責任または偶発債務を負わないものとします。

CE

実験室用診断への使用。

Rx only.

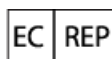
すべての国で販売されているわけではありません。詳細についてはSCIEX販売代理店にお問い合わせください。

AB SciexはSciexブランドの下で事業を行っています。

ここに示されているすべての商標は、AB Sciex Pte. Ltd. またはそれぞれの権利保有者の財産です。

AB SCIEX™ はライセンスの下で使用されています。

© 2017年 AB Sciex



AB Sciex Netherlands B.V.
1e Tochtweg 11,
2913LN Nieuwerkerk aan den IJssel
Netherlands



AB Sciex Pte. Ltd.
Blk 33, #04-06
Marsiling Ind Estate Road 3
Woodlands Central Indus.Estate.
シンガポール 739256

内容

1 はじめに.....	4
Reporter 3.2ソフトウェアの推奨ユーザー.....	4
Analyst Reporterユーザーインターフェース.....	5
2 レポートを結果テーブルから作成する.....	8
3 レポートテンプレートの編集.....	10
改訂履歴.....	14

Reporter 3.2ソフトウェアでは、Microsoft Word、テキスト、HTML、Microsoft Excel（csv）、PDF形式のレポートを作成できます。レポートは、Analyst[®] MDソフトウェアの結果テーブルと関連データファイルの情報をを用いて作成されます。

- ・ Reporter 3.2ソフトウェアを使用すると、適切にフォーマットされたレポートをAnalyst[®] MDソフトウェアの結果テーブルから作成できます。
- ・ レポートテンプレートを編集します。

Reporter 3.2ソフトウェアの推奨ユーザー

Reporter 3.2ソフトウェアは、Analyst[®] MDソフトウェアの定量結果テーブルのユーザーを対象に用意されています。本ソフトウェアでは、既定テンプレートとしてMicrosoft Wordドキュメントが使用されます。レポートの作成時には、保存した結果テーブルと関連ファイルから値が抽出され、適切にフォーマットされた最終レポートに入力されます。

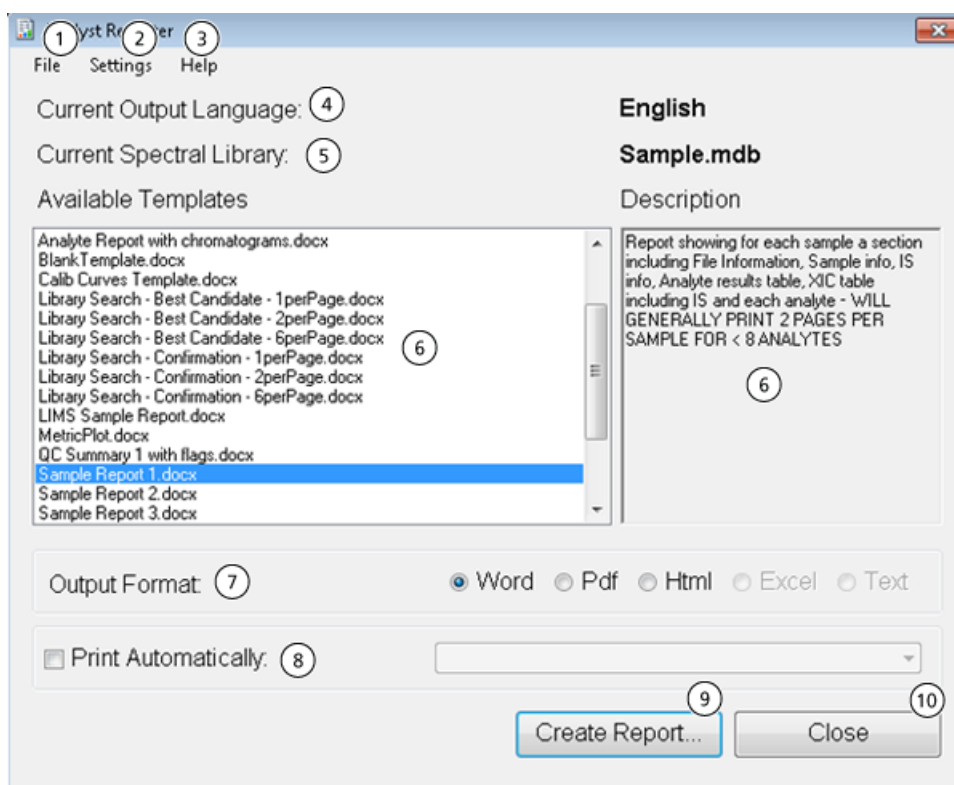
Reporter 3.2ソフトウェアには、いくつかのレポートテンプレートスタイルが用意されています。これらのMicrosoft Wordドキュメント（docx形式）は、**Analyst Data > Projects > API Instrument > Templates**フォルダーにインストールされています。

注：Analyst[®] MDソフトウェアのインストールが完了したら、インストールされたレポートテンプレートを安全な場所にバックアップしてください。

注意：データ損失の可能性があります。規制環境においては、ユーザーによるテンプレートの変更を防ぐため、**Reporter**テンプレートは必ず安全な読み取り専用フォルダー（アクセスがシステム管理者による書き込み目的に限定）に保存します。

Analyst Reporterユーザーインターフェース

図 1-1 Analyst Reporter



項目	オプション	説明
1	ファイル > 終了	プログラムを閉じて全てのリソースを開放します。
2	設定 > 出力言語の選択	レポートテンプレート内の言語タグの置き換えに用いられる言語辞書を設定します。言語タグが含まれるテンプレートは、任意の言語でレポートを作成する際に使用できます。言語タグは、選択した言語の辞書ファイルに含まれる一致タグ（テキスト）に置き換えられます。これらの辞書ファイルは以下のフォルダーに保存されています： C:\Program Files\AB SCIEX\AnalystReporter\Resources\Languages（Windows 7、32ビットオペレーティングシステム）またはC:\Program Files (x86)\AB SCIEX\AnalystReporter\Resources\Languages（Windows 7、64ビットまたはWindows 10、64ビットオペレーティングシステム）。

項目	オプション	説明
2	設定>ライブラリーの選択	スペクトルライブラリーを閲覧します。このライブラリーは、（データ依存型取得（IDA）によってトリガーされたMS/MSスキャンタイプが含まれる）結果テーブルのMS/MSデータをマッチングおよびスコアリングする際に用いられます。
2	設定>テンプレートフォルダーの選択	どのフォルダーから使用可能なテンプレートを読み取るかを設定します。既定のテンプレートフォルダーに戻るには、 Default オプションを選択します。
3	ヘルプ>本ソフトウェアについて	現在インストールされているReporterソフトウェアのバージョン情報が表示されます。
4	現在の出力言語	現在選択されている言語辞書（レポートテンプレート内の言語タグの置き換えに用いられます）を表示されます。言語辞書は、 Settings > Select Output Language で選択できます。
5	現在のスペクトルライブラリー	現在選択されているスペクトルライブラリーが表示されます。スペクトルライブラリーは、 Settings>Select Library で選択できます。
6	使用可能なテンプレートと詳細	使用可能なレポートテンプレートが表示されます。テンプレートを選択すると、テンプレートの詳細が見られます。使用可能なテンプレートの読み込み元となるフォルダーを変更するには、 Settings > Select Template Folder > Browse を選択します。

項目	オプション	説明
7	出力形式	<p>Reporterソフトウェアに対応している出力フォーマットが示されます。選択したレポートテンプレートと互換性がある形式のみ使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ Word : Microsoft Wordドキュメント (docx) が作成されます。このドキュメントは、Microsoft Word 2010以上のバージョンで閲覧できます。・ PDF : レポートがPDF形式で直接作成されます。・ HTML : Microsoft WordがHTMLファイルの作成に使用されます。 関連画像ファイルはHTMLファイルと同じ名前のフォルダーに保存されます。・ Excel : プレーンテキストファイル (csv) が作成されます。コンマ区切り値が含まれるレポートテンプレートは、Microsoft Excelで開くことができます。この際、値はそれぞれ個別のセルに表示されます。この出力形式では、「テキスト互換性あり」と明記されたテンプレートのみ使用できます。・ Text : プレーンテキスト文書 (txt) が作成されます。この出力形式では、「テキスト互換性あり」と明記されたテンプレートのみ使用できます。
8	Print Automatically	レポートが作成されると、選択したプリンターで印刷されます。使用可能なプリンターを選択します。
9	Create Report	選択したレポートテンプレートを用いて、選択した出力形式でレポートが作成されます。
10	Close	プログラムを閉じてすべてのリソースを開放します。

レポートを結果テーブルから作成する

2

注意：データ損失の可能性があります。規制環境においては、ユーザーによるテンプレートの変更を防ぐため、**Reporter**テンプレートは必ず安全な読み取り専用フォルダー（アクセスがシステム管理者による書き込み目的に限定）に保存します。

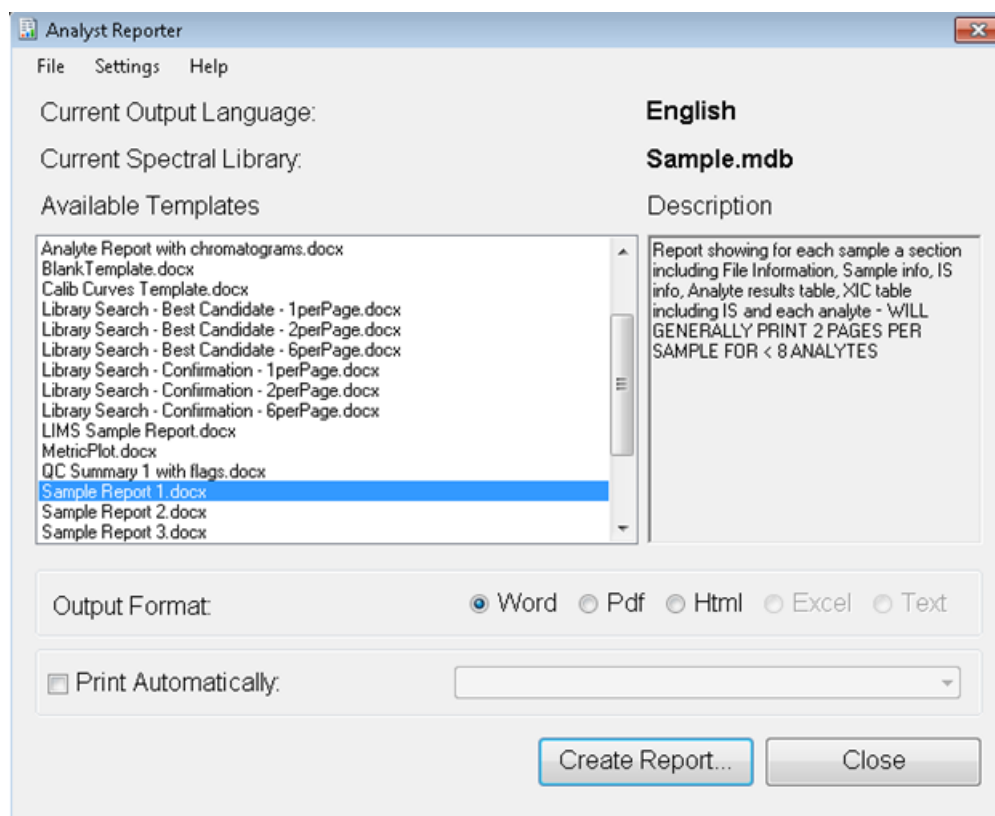
1. Analyst[®] MDソフトウェアで結果テーブルを開きます。

結果テーブルがすでに開かれている場合は、ステップ2で**Reporter 3.2**を選択する前に保存します。

2. **Companion Software**セクションで**Reporter 3.2**をダブルクリックします。

Analyst Reporterダイアログが表示されます。

図 2-1 Analyst Reporterダイアログ



3. **Available Templates**フィールドでテンプレートを選択します。

注：（該当する場合）選択したテンプレートの説明がDescriptionフィールドに表示されません。レポートテンプレートには「分析試料ごと」のレポートを意図しているものや、「サンプルごと」のレポートを意図しているものがあります。他のレポートテンプレートの例として、キャリブレーションカーブ、イオン比率、品質管理概要、ライブラリー検索結果などが挙げられます。

注：クエリーが組み込まれているレポーターテンプレートを使用する場合、ユーザーが結果を検証する責任を負います。

4. **Output Format**を選択します。

注：灰色で表示されているオプションは、選択したテンプレートには使用できません。たとえば一部のテンプレートは、txtやExcel（csvファイル）といった「テキストのみ」形式に対応していません。

5. **Print Automatically**を選択して、選択したプリンターでレポートを自動的に印刷します。

注：他のプリンターを選択しない限り、Windowsで設定されたデフォルトのプリンターが使用されます。Reporterソフトウェアでは、操作を終えてもプリンターの選択が維持されます。

6. **Create Report**をクリックします。

7. レポートを保存したい場所を参照し、**File name**を入力してから**Save**をクリックします。

注：選択したテンプレートが開かれるのに併せてAnalyst Reporterダイアログに進捗インジケーターが表示され、開いている結果テンプレートのデータが入力されます。

注：カスタムテンプレートの作成時には、ユーザーがテンプレートを検証する責任を負います。

注意：データ損失の可能性があります。規制環境においては、ユーザーによるテンプレートの変更を防ぐため、**Reporter**テンプレートは必ず安全な読み取り専用フォルダー（アクセスがシステム管理者による書き込み目的に限定）に保存します。

Reporter 3.2ソフトウェアには、いくつかのレポートテンプレートスタイルが用意されています。これらのテンプレートは、Microsoft Word文書（.docx形式）です。Reporterソフトウェアによってレポートが作成される際には、文書内の特殊タグは、現在アクティブになっている結果表の情報に置き換えられます。

適切なテンプレートが存在しない場合は、編集することが可能です。本項では、これらのテンプレートの編集について簡単に説明します。カスタムレポートテンプレートの他の作成オプションについては、SCIEXの担当者までお問い合わせください。

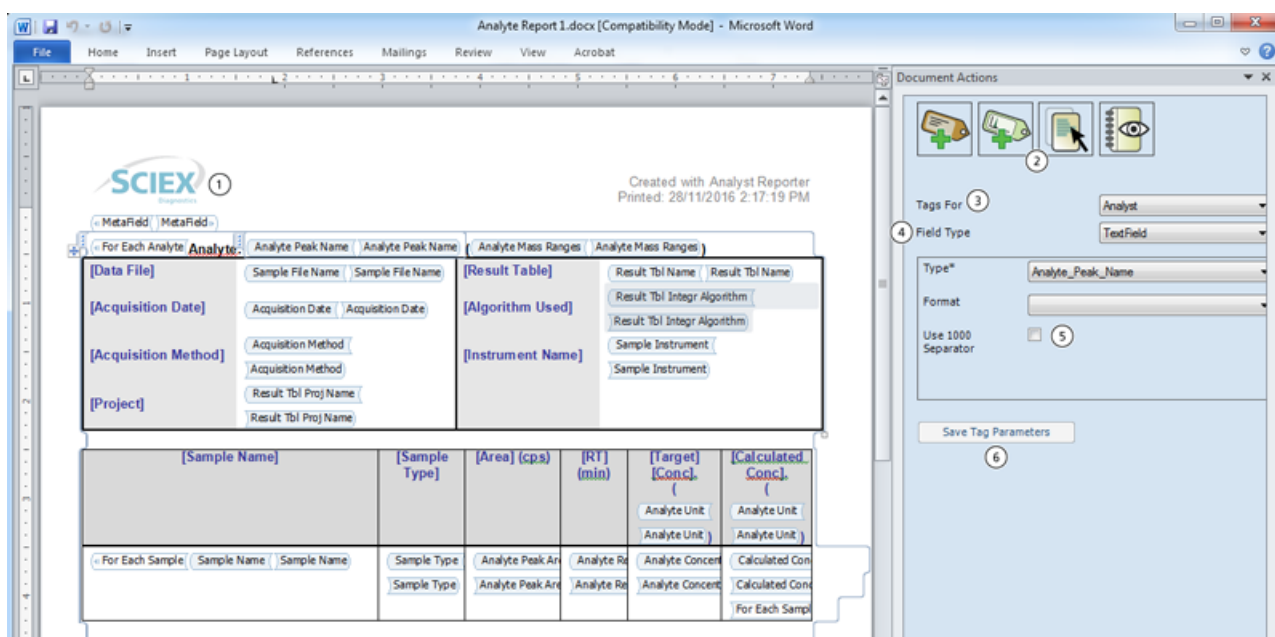
注：レポートテンプレートの編集やテンプレートの作成時には、ユーザーがテンプレートを認証する責任を負います。

1. Reporter テンプレートが含まれるフォルダーを参照し、該当するdocxテンプレートをダブルクリックします。

.docxテンプレートはMicrosoft Wordで開かれ、右側にReporterテンプレートエディターが表示されます。





注：Template Editorには、Reporterソフトウェアによって提供されたタグ情報が自動的に入力されます。

図 3-1 Reporter Template Editorのユーザーインターフェース



項目	説明
1	現在のタグが表示されているレポートテンプレートです。
2	アイコン。表 3-1を参照してください。
3	Tags For: タグ情報を提供しているソフトウェア名が表示されます。
4	Field Type: ソフトウェアに適用されるフィールドタイプが表示されます。
5	Type* フィールドでの選択にもとづいて、使用可能な属性のリストが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> Type* : 使用可能なフィールドタイプのリストが示されます。 Format : 選択したフィールドタイプで使用可能な形式のリストが示されます。 Use 1000 Separator : 桁区切り記号としてカンマが表示されます。Use 1000 Separatorを選択すると、例として「1234567.89」の値が「1,234,567.89」と表示されるようになります。
6	Save Tag Parameters: クリックして、変更を保存します。変更が保存されなかった場合、変更の保存を促すメッセージが表示されます。

表 3-1 編集アイコン

アイコン	名称（ツールヒント）
	新しいタグの追加
	画像タグの追加
	コンテンツ領域
	文書変更ログの表示

- この手順は必要に応じて実行します。何らかの変更を加えたら、**Save Tag Parameters**をクリックします。

ヒント！ 必須情報は、フィールド左側で赤いエクスクラメーションマークが点滅すること示されます。

表 3-2 Reporterの機能

目的の作業	実施する作業
フィールドタイプを変更。	タグ内をクリックし、新しいフィールドタイプを選択して、属性を選択します。
フィールドタイプの属性を変更。	タブ内をクリックして、必要に応じて属性を変更します。
タグを追加。	Add new tag アイコンをクリックし、 Field Type フィールドを選択してから、属性を選択します。
画像タグを追加。	Add picture tag アイコンをクリックし、属性を選択します。
タグの開始・終了を表示。	Show content area アイコンをクリックします。
文書監査ログを表示します。	View document change log アイコンをクリックします。

表 3-2 Reporterの機能 (続き)

目的の作業	実施する作業
タグをコピー。	選択したタグをコピーし、新しい場所に貼り付け、フィールドタイプ属性を更新します。 注：属性はコピーされないため、選択しなければなりません。
タグ間で移動。	左右の矢印キーを使用して、タグ間を移動します。
タグを消去。	次のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none">・カーソルがタグの左側にある場合、Deleteを押します。・カーソルがタグの右側にある場合、Backspaceを押します。

改訂履歴

改訂	変更の理由	日付
A	初版ドキュメント。	2013年1月
B	Analyst [®] MDソフトウェアのバージョンを1.6.2に変更。	2013年6月
C	AB SCIEXをSCIEXに適宜に変更。 著作権ページを更新。 ドキュメント内の会社のロゴをSCIEX Diagnosticsに変更。 改訂履歴を追加。 Windows 10（64ビットオペレーティングシステム）における言語辞書ファイルの保存場所についての記述を追加。 「レポートを結果テーブルから作成する」の項のステップ1に情報を追加。 図1-1、図2-1、図3-1を変更。 Analyst [®] MDソフトウェアのバージョン番号を除去。 図3-1に新しい項目（FormatとUse 1000 Separator）とその説明を追加。	2017年2月
D	図1-1と図2-1のスクリーンショットを変更。	2017年5月